【取組内容】 EdTech教材の活用

鹿児島市が教育教材提供機関との提携を受け、本年度からEdTech教材を情報 I で活用した。

EdTech教材とは、教育(Education)とテクノロジー(Technology)を組み合わせた言葉である「EdTech」を活用した教材である。従来の教科書やプリント教材とは異なり、コンピューターやスマートフォンなどのデジタルデバイスを使って、よりインタラクティブ(双方向性)で、個人に合わせた学習を可能にする。

EdTech教材の特徴

- •インタラクティブ性: 映像、音声、アニメーションなどを活用し、単にスライドを読むだけでなく、クイズに答えたり、シミュレーションやワークショップを体験したりすることで、より深く理解を深めることが期待できる。
- •個別最適化: 各生徒の学習進度や理解度に合わせて、問題の難易度や学習内容を自動で調整できるため、一人ひとりが自分のペースで学習を進めることができる。
- •**多様な学習スタイルに対応**: 映像を見る、ゲームをする、プログラミングをするなど、様々な学習スタイルに対応した教材が豊富にあり、自分の興味関心に合った学び方を選ぶことができる。
- •時間や場所を選ばない学習: スマートフォンやタブレットがあれば、いつでもどこでも学習することが可能である。

【取組内容】 EdTech教材の活用

【授業の実際】

授業スライドを使い、以下のような授業展開を行っている

導入

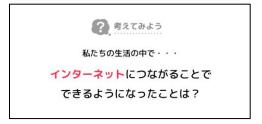
展開

まとめ

動機付けのための 発問をし、取り扱 う内容の導入をす る。

学習範囲を示し、レッスンを実施する。

発問に対する解説や学 習内容のまとめを行う。







生徒は理解度に合わせて進度(単元の予習・復習)を決めることができる。単元テストやワークショップの機能もあり、職員は生徒の評価へ利活用している。